

1 単元名 都道府県の調査

南濃町立南濃中学校

松家 隆弘

「多面的に調べよう～岐阜県～」(全8時間)

2 単元のねらい

岐阜県は日本列島のほぼ中央に位置し、地域の高低差が大きく多様な自然環境に恵まれている。そうした自然を生かした産業や文化が地域ごとに根付いているという特徴を捉え、今後の岐阜県について自分なりの考えを持つことができる。

3 単元で培いたい学び方

岐阜県の特徴を、地図、グラフ、統計などの資料を活用して、岐阜県を多面的に捉えることのできる学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(2)イ「都道府県」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
都道府県に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、都道府県の「地域的特色をとらえようとしている。	都道府県の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に追究するとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を考察している。	都道府県に関する地図や統計その他の資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、都道府県の地域的特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	都道府県の地域的特色とともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	岐阜県に関する多くの情報を収集、検討して、岐阜県の地域的特色を明らかにできる学習課題を意欲的に追究していこうとしている。	岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれ、豊かな自然を生かした営みがされていることを産業、自然、文化などの多角的な視点を持って追究しようとしている。	岐阜県の地図や統計資料、文献を収集して、飛山濃水岐阜県の現状と課題について自分の考えをまとめ、表現している。	人間の営みとのかかわりに着目してとらえた岐阜県の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。
学習活動ける具体の評価規準	岐阜県の地形を、白地図に山脈、平地、揖斐川、木曾川、長良川を色分けして書き込んでいる。 【第1時 白地図への記述】 岐阜県の10年後の未来構想について、自分が収集した資料や沢田さんの生き方から自分の考えを書いている。 【第8時 発言内容・ノートの記述】	岐阜県の伝統的な鵜飼いが、観光化を進めるか、伝統を守り通すかで揺れている現状を知り、自分ならどちらの考えを進めるのか、立場を明らかにして述べるができる。 【第3時 発言内容・ノートの記述】 沢田さんの生き方を知り、自分が調べてみたい視点を持ち、資料を選択して自らの考えを持っている。 【第4時 ノートの記述】	統計資料について、項目内容、単位、年次の3点着目して、鵜飼観光客数の変化を的確に読みとっている。 【第2時 ノートの記述】 岐阜県の産業や文化を、自然環境と人々の暮らしに関連づけて、地図や統計、その他の資料を用いてまとめている。 【第5・6時 ノートの記述】 岐阜県の産業や文化について調べたことを整理・選択して聞いている側に分かりやすく説明する表現の方法を検討し、まとめている。 【第7時 発言内容】	岐阜県の産業と文化が発達している市町村を地図で示し、「山と水」をキーワードにまとめるよう助言する。 【第5・6時 ノートの記述】